



令和7年度 第5号

令和7年6月9日(月)

## 「信じる」そして「認める」「褒める」

本校では児童に対する基本的な姿勢として、「信じる」「認める」「褒める」の3つを心がけています。

人はおとなになっても、他から褒められたり認められたりすると嬉しくなるものと思います。私自身、この歳になっても「校長先生、◎◎してくれて、ありがとう」などと児童から認め(?)られたり、「三郷小の子どもたちは●●な点で素晴らしいですね」などと保護者や地域の方からお褒めの言葉をいただいたりすると、素直に嬉しくなります。ましてや自分なりに一生懸命取り組んだことであれば尚更です。そして、その喜びが、次の行動の原動力になり、さらに高きを目指すきっかけにもなっています。おとなでさえ、嬉しいのですから児童たちにとっては尚一層のことと思います。



認めたり褒めたりするためには、その前提として児童を信じて任せることが大切ですが、発達途上にある児童に任せることは、時には勇気が必要なこともあります。「失敗しないだろうか…」「うまくいかなくて、ガッカリしないだろうか…」など様々な心配が頭に浮かんでは消えることもしばしばあります。

ただし、多くの場合はその心配は杞憂で終わることが多く、仮に失敗しても、児童は自分に任されたことで、精一杯頑張ったという満足感や充実感を得られることもあります。さらに、『失敗は成功の母』という格言があるように、失敗こそ大きな学びを得る第一歩になることも事実です。もちろん、命に関わることや身体の危険に関わることについては失敗させてはなりません、日常生活のちょっとした失敗は反省する・振り返る(この部分が欠けると、失敗を繰り返してしまいますが…)ことで、今後の生き方に関わって得るものがあります。

冒頭にも述べましたが、学校では、児童を「信じ」、行為を「認め」、頑張りや努力を具体的に分かりやすく「褒める」ように努めています。保護者の方々も、この方針に賛同いただき、ご家庭でも「信じる」そして「認める」「褒める」ようお願いいたします。

## マナーを守って、気持ちよい学校

梅雨入りも間近に感じられるこの頃、雨の降る日が多くなりました。雨天の朝は多くの児童が傘を差して登校してきます。校舎に入る様子を眺めていると、ほとんどの児童が玄関外で雨で濡れた傘の雫を払い、決められた傘かけにキレイに丸めて置いていました。右の写真はその様子です。一人一人がマナーを守れると、学校の全員が気持ちよく生活できる一例と思いました。さすが三郷小の児童たちと嬉しくなって、お伝えしました。



## 今年も「朝の読み聞かせ」が始まりました

今年度の「朝の読み聞かせ」が5月15日に1・2年生から始まりました。(順次、上の学年で実施しております。)今年度も、木曜日の朝の時間に月2回程度、ボランティアの方々が行ってくれます。児童期に行われる読み聞かせには、『語りのリズムや目に映る絵本の描写が、柔軟な頭脳を適度に刺激し、【感受性】【想像力】を育てる働きをしてくれる』などといった教育的価値があるそうです。実際、読み聞かせが始まると物語に入り込む様子が多くの児童に見られ、よい刺激を受けていることが窺えます。



今年度も読み聞かせボランティアの皆様、よろしくお願いいたします。

## 夏本番に向けて 見違えるほどキレイになりました

6月2日にプール開きを行い、今後、1学期末まで水泳授業が行われます。プール開きに先駆けて、5月21日に5年生、5月22日・23日に6年生がプール清掃をしました。まず、5年生がプールサイドやシャワー周辺、手洗い場、更衣室、トイレなどを清掃してくれました。翌日以降、6年生がプールの側溝、底面や側面に付いた汚れをデッキブラシ等を用いて綺麗に落としてくれました。



5年生が清掃を行った日は晴天でしたが、6年生が行った日は曇天で、まだまだ水が冷たく感じられるなか、5・6年児童たちは先生の指示のもと一生懸命に清掃に取り組んでいました。『さすが、高学年の作業だなあ』と感服させられました。また、清掃中に大きなケガや事故・トラブルもなく、無事に予定どおり清掃が終了できたことも立派でした。



5・6年生のお陰でプールは見違えるようにピカピカとなり、清掃後は注水することができて、予定どおりにプール開きを迎えることができました。

**5・6年生の皆さん、ありがとうございました！**

## 朝の旗振り当番 お世話になります

朝の旗振り当番について、保護者の皆様には大変お世話になっております。

P T A地区委員の方々のご尽力のもと、保護者の皆様に旗振り当番を担っていただき、登校時における児童の命・安全が守られていると考えております。

今年度、朝の旗振りの際に、保護者の皆様へ一つお願いがあります。本校では【進んであいさつのできる児童】を目指しております。そこで、**朝の旗振りの際に、保護者の皆様から登校してくる児童へ「おはよう」などの一言をお声がけいただくようお願いいたします。**自分からあいさつがなかなかできない児童も保護者の方々から毎日声をかけてもらえるとやがては自分からあいさつできるようになるのでは…と願っております。

保護者・地域・教職員の三位一体で三郷小児童の命・安全が守られるとともに豊かな心が育成されますよう、今後もよろしくお願いいたします。

